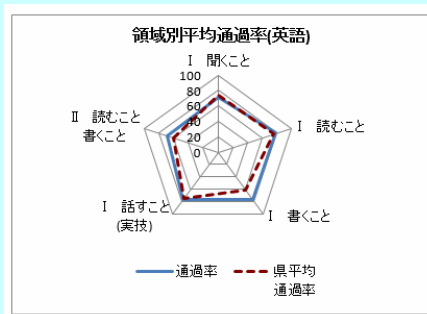


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.2%, 県 %)

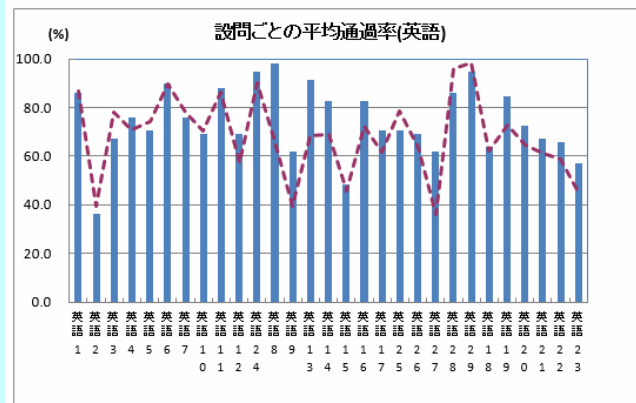
対県比

108.7%

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○英語の結果において、タイプⅠは77.3%、タイプⅡは72.7%の通過率となっている。基礎的基本的な内容は、概ね定着していると考えられるが、一方では、タイプⅠ英語の問いかけに対する適切な対応が36.2%と低い状況が見られる。基本的なことをもう一度復習しながら授業を進めていく必要がある。

○昨年度は、あらかじめ読んだ文についての問答に対して課題があった。今年度は70.7%と数値は上昇している。教科書本文の読解の時に、疑問詞を使つての問答を定期的に行ってきた結果であると考えられる。

重点課題

- 【課題1】リスニングにおいて、英語の問いかけに対する適切な対応することに課題がある。  
(通過率 36.2% 県平均 39.2%)
- 【課題2】会話の場面に応じて適切に英文を書くことや、まとまりのある一貫した英語の文章を書くことに課題がある。  
(15番 通過率 48.3% 県平均 45.6%)  
(23番 通過率 56.9% 県平均 45.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】通常の授業において、質問と答え以外の場面でも英語を用いて対話するように授業展開を改善する。また、授業のはじめに、簡単な会話の問いかけを仕組む。さらに、定期的にALTとの会話テストを実施するよう計画する。
- 【課題2】毎日、家庭学習でノートに英文を書かせるようにすることにより、英文を書く習慣をつけられるようにする。また、授業においては会話文のスキット作りを定期的に仕組むことにより、自分の考えを英文で表す機会を増やすようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1, 2年・復習テスト	1~3年・中間テスト (タイプⅠ対応問題)		2年・H27「基礎基本」	1, 2年標準学力調査 (活用)	1年・H27「基礎基本」	1, 2年・学年末テスト (タイプⅠ対応問題)
目標値	68.0%	80%		タイプⅠ 85%	70%	タイプⅠ 70.0%	85%
実施後数値	授業はじめに簡単な会話をする学習 (QandA)		簡単な会話文を使って1文を加える自己表現をする学習		英会話を活用して、あいづちなどをしながらチャットをする学習		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1, 2年・復習テスト	1~3年・中間テスト (タイプⅡ対応問題)		2年・H27「基礎基本」		2年・H27「基礎基本」	1, 2年・学年末テスト (タイプⅡ対応問題)
目標値	68.0%	70%		タイプⅡ 75%		タイプⅡ 85%	75%
実施後数値	毎日の家庭学習ノートに基本文を書く (週3回)		基本文を活用して、簡単な会話文スキットをつくる学習		基本文を使って、授業でつくった簡単な会話文スキットをさらに家庭学習でノートに書かせる学習		